

決算説明資料

2017年度第1四半期決算概況

2017年8月1日



(注意事項)

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2017年度第1四半期決算

業績概要（前年同期対比）	4
セグメント別売上高	5
セグメント別営業利益	6
売上高・営業利益の増減分析 （セグメント別）	7
比較貸借対照表	12
キャッシュ・フロー	13
IFRS適用の影響（2017年度予想）	14

（参考資料）

セグメント別売上高（四半期推移）	16
セグメント別営業利益（四半期推移）	17
主要グループ会社業績動向	18

2017年度第1四半期決算

業績概要（前年同期対比）

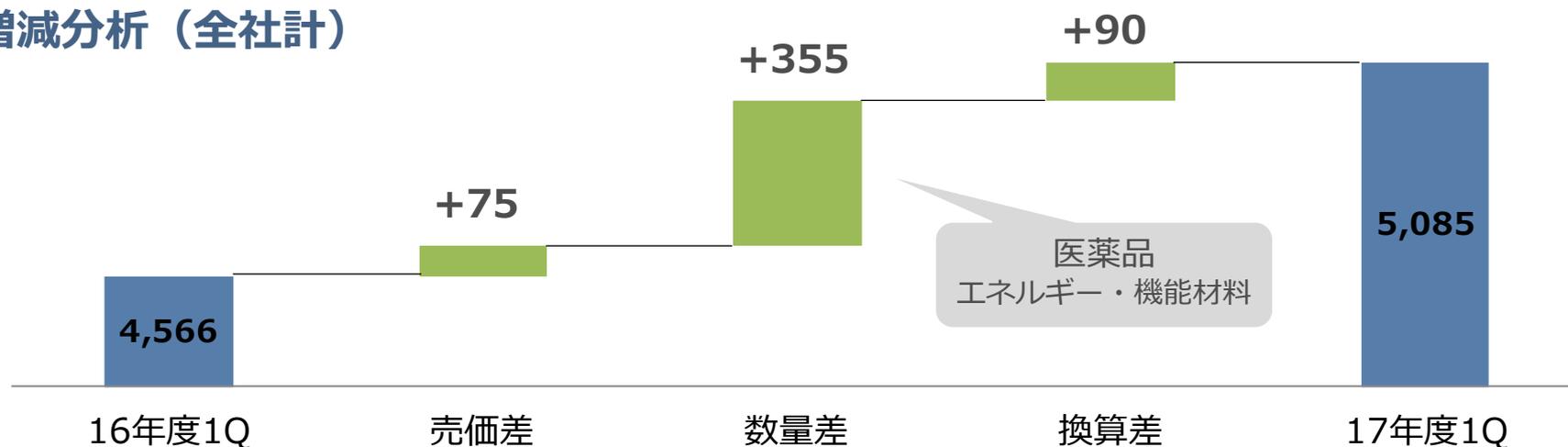
単位:億円

	16年度1Q	17年度1Q	増減	増減率
売上高	4,566	5,085	520	11.4%
営業利益	253	376	123	48.6%
（持分法投資損益）	(102)	(77)	(△25)	-
（為替差損益）	(△93)	(5)	(98)	-
経常利益	258	462	203	78.7%
（特別損益）	(△5)	(91)	(96)	-
（法人税等）	(△48)	(△104)	(△56)	-
四半期純利益	206	449	244	-
（非支配株主に帰属する四半期純利益）	(△84)	(△134)	(△50)	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	122	316	193	158.3%
ROE	1.7%	3.8%		
平均為替レート（円/USD）	108.04	111.09		
ナフサ価格（円/KL）	31,600	39,000		
海外売上高比率	60.6%	62.1%		

単位:億円

	16年度1Q	17年度1Q	増減	増減率	売価差	数量差	邦貨換算差
石油化学	1,370	1,565	196	14.3%	145	34	17
エネルギー・機能材料	470	593	123	26.2%	20	101	2
情報電子化学	860	908	48	5.5%	△55	59	43
健康・農業関連事業	640	652	12	1.8%	△35	35	12
医薬品	1,117	1,248	131	11.7%	0	115	15
その他	109	120	11	9.8%	0	11	0
合計	4,566	5,085	520	11.4%	75	355	90

増減分析（全社計）

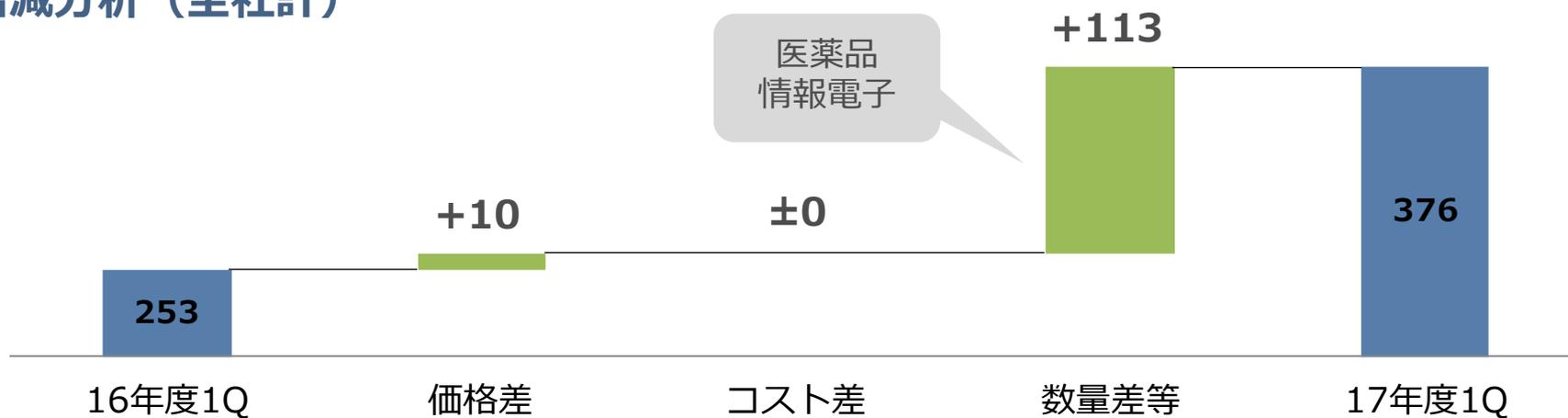


セグメント別営業利益

単位:億円

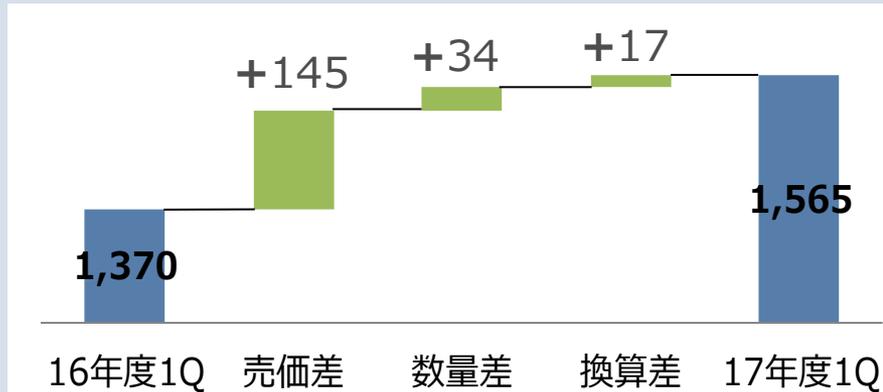
	16年度1Q	17年度1Q	増減	価格差	コスト差	数量差等	合計
石油化学	18	103	85	80	0	5	85
エネルギー・機能材料	7	46	39	10	0	29	39
情報電子化学	14	30	16	$\Delta 45$	20	41	16
健康・農業関連事業	91	30	$\Delta 61$	$\Delta 35$	$\Delta 10$	$\Delta 16$	$\Delta 61$
医薬品	153	203	50	0	$\Delta 15$	65	50
その他 全社費用等	$\Delta 30$	$\Delta 37$	$\Delta 7$	0	5	$\Delta 12$	$\Delta 7$
合計	253	376	123	10	0	113	123

増減分析 (全社計)



石油化学セグメント (前年同期対比)

売上高増減



1,565億円 (前年同期比+196億円)

売価差
+145億円

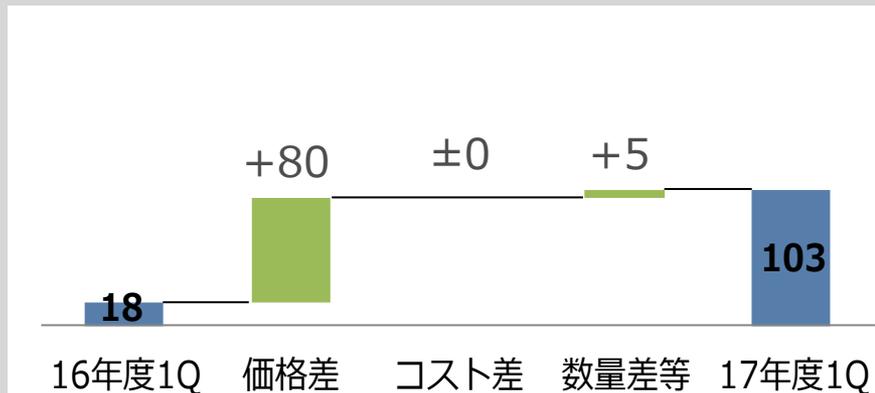
- MMA・合成樹脂等市況上昇

数量差
+34億円

- 住化ポリカーボネート子会社化
- ラービグ製品出荷増加

換算差
+17億円

営業利益増減



103億円 (前年同期比+85億円)

価格差
+80億円

- 合成樹脂・MMA等交易条件改善

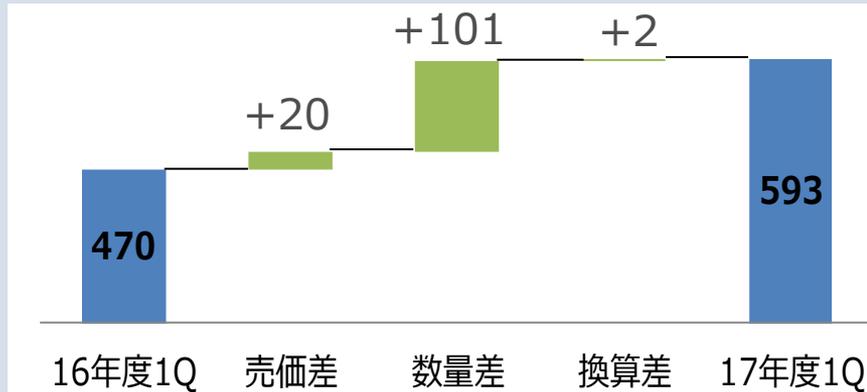
コスト差
0億円

数量差等
+5億円

- ラービグ製品出荷増加

エネルギー・機能材料セグメント（前年同期対比）

売上高増減



593億円（前年同期比+123億円）

売価差
+20億円

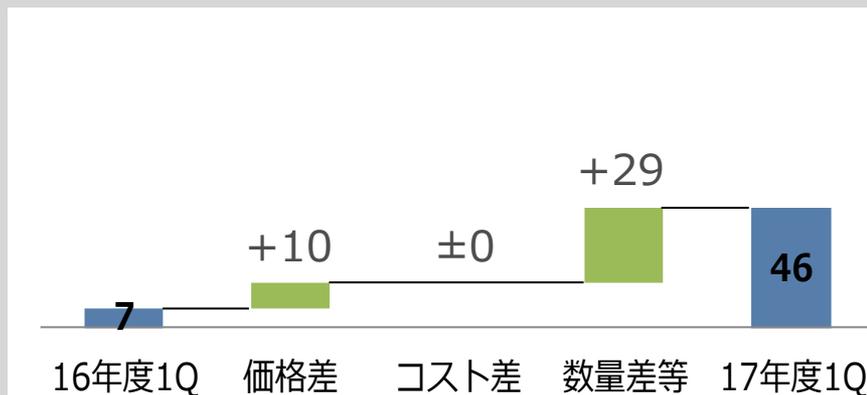
- アルミニウム市況上昇

数量差
+101億円

- リチウムイオン二次電池用セパレータ増強
- レゾルシ・エンジニアリングプラスチックス出荷増加
- 田中化学新規連結

換算差
+2億円

営業利益増減



46億円（前年同期比+39億円）

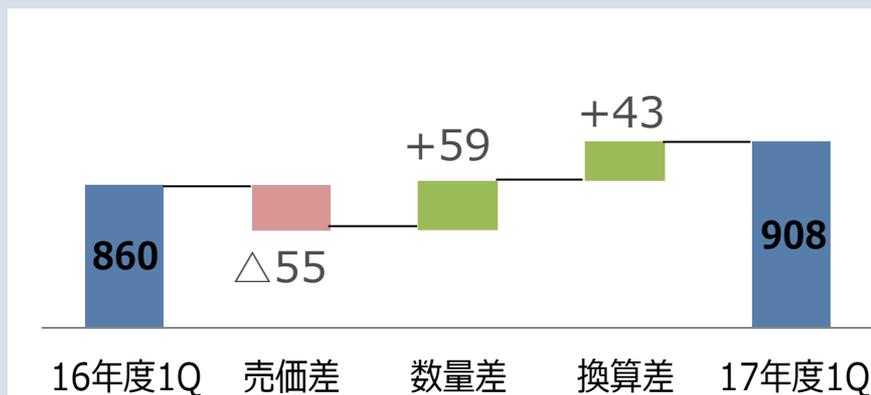
価格差
+10億円

コスト差
0億円

数量差等
+29億円

- リチウムイオン二次電池用セパレータ増強
- レゾルシ・エンジニアリングプラスチックス出荷増加

売上高増減



908億円 (前年同期比+48億円)

売価差
△55億円

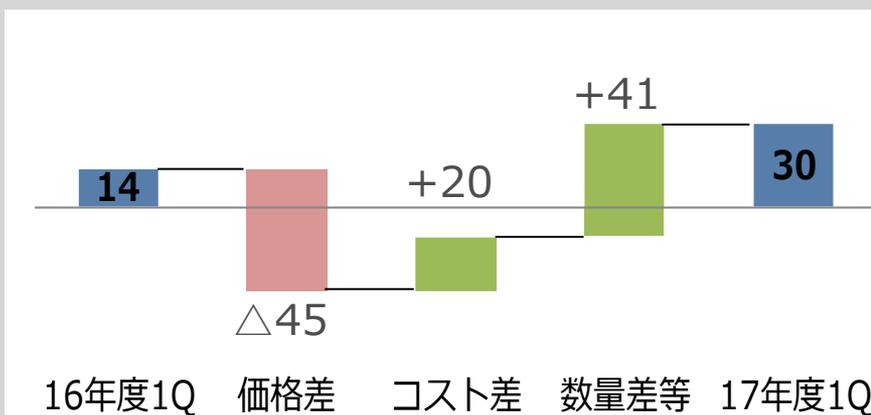
- 偏光フィルム売価下落
- タッチセンサーパネル売価下落

数量差
+59億円

- 偏光フィルム出荷増加
- タッチセンサーパネル出荷増加

換算差
+43億円

営業利益増減



30億円 (前年同期比+16億円)

価格差
△45億円

- 偏光フィルム売価下落
- タッチセンサーパネル売価下落

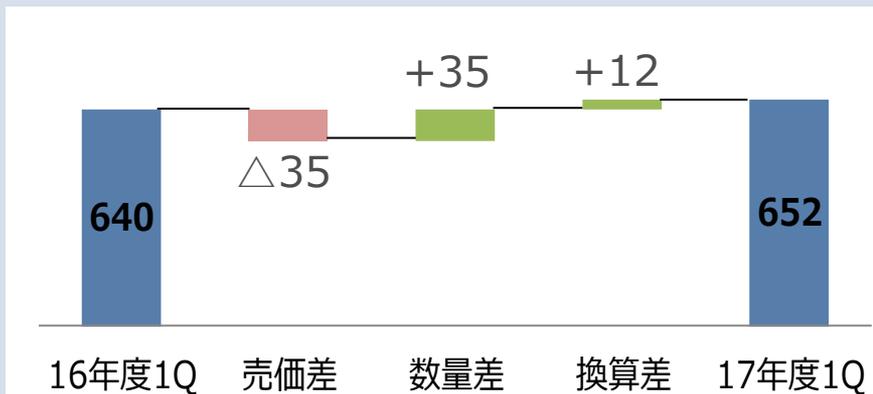
コスト差
+20億円

- 原料合理化、収率向上等

数量差等
+41億円

- 偏光フィルム出荷増加
- タッチセンサーパネル出荷増加

売上高増減



652億円 (前年同期比+12億円)

売価差
△35億円

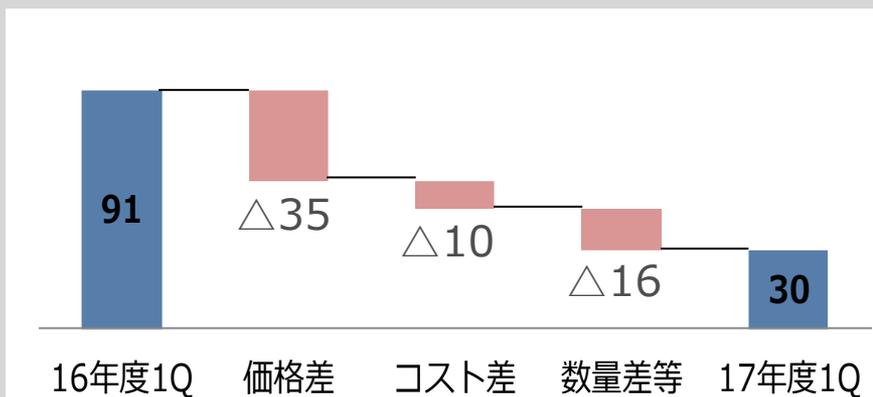
- メチオニン市況下落

数量差
+35億円

- エクセルクロップケア新規連結
- 海外農薬出荷減少

換算差
+12億円

営業利益増減



30億円 (前年同期比△61億円)

価格差
△35億円

- メチオニン市況下落

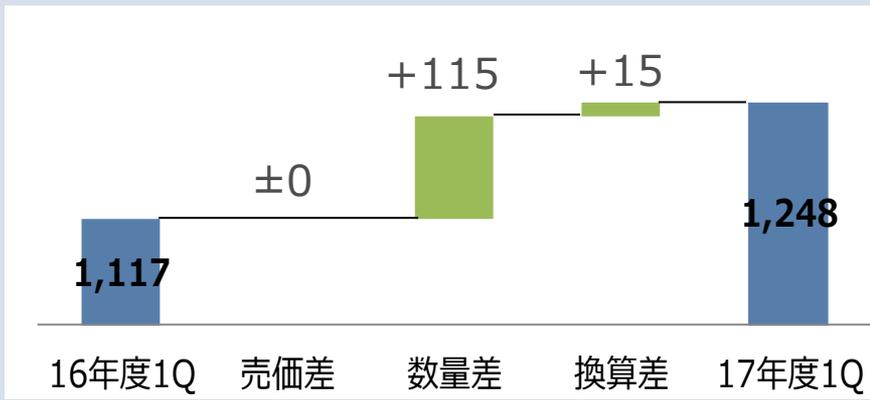
コスト差
△10億円

- 退職給付数理差異償却負担増加

数量差等
△16億円

- 海外農薬出荷減少

売上高増減



1,248億円 (前年同期比+131億円)

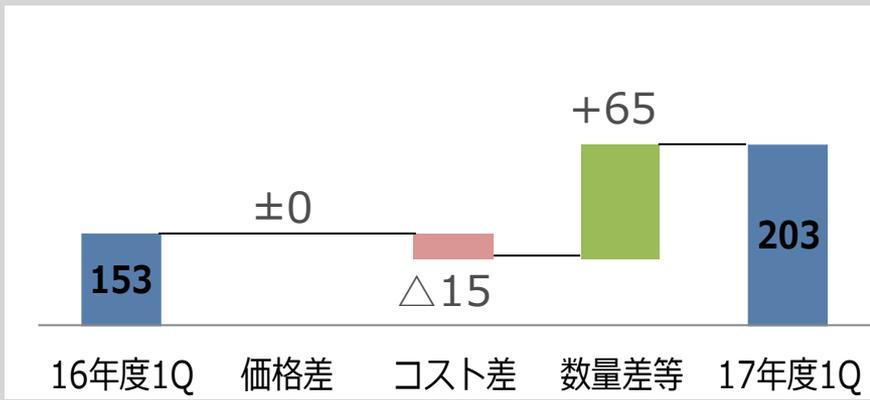
売価差
0億円

数量差
+115億円

換算差
+15億円

- 北米ラツォーダ等出荷増加

営業利益増減



203億円 (前年同期比+50億円)

価格差
0億円

コスト差
△15億円

数量差等
+65億円

- COPD製品 販売費用増加

- 北米ラツォーダ等出荷増加

比較貸借対照表

12

単位:億円

	17.3月末	17.6月末	増減
流動資産	12,311	12,825	513
現預金	1,609	1,954	346
売掛債権	4,552	4,469	△84
たな卸資産	4,094	4,288	194
その他	2,056	2,114	57
固定資産	16,309	16,356	47
有形固定資産	6,262	6,241	△21
無形固定資産	3,576	3,538	△38
投資その他の資産	6,471	6,577	106
資産合計	28,621	29,180	560

	17.3月末	17.6月末	増減
負債	16,995	17,344	349
買掛債務	2,435	2,429	△7
有利子負債	8,753	9,094	341
その他	5,807	5,822	15
純資産	11,625	11,836	211
株主資本	7,070	7,272	202
その他の包括利益累計額	1,133	1,074	△60
非支配株主持分	3,422	3,491	69
負債・純資産合計	28,621	29,180	560
自己資本比率	28.7%	28.6%	△ 0.1%
D/Eレシオ (倍)	0.8	0.8	0.0

単位:億円

	16年度1Q	17年度1Q	増減
営業キャッシュ・フロー	△94	249	343
投資キャッシュ・フロー	△348	△165	183
差引（フリー・キャッシュ・フロー）	△442	85	526
財務キャッシュ・フロー	525	126	△399
その他	△172	△8	163
現金及び現金同等物の増減	△88	202	291
現金及び現金同等物の期末残高	2,068	2,144	76

単位:億円

IFRS (日本基準)	日本基準	IFRS	増減	主な内容
売上収益 (売上高)	21,900	21,700	△200	交換販売の売上収益非認識
コア営業利益 (営業利益)	1,650	2,000	350	持分法投資利益算入 のれん非償却
親会社の所有者に帰属する当期利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	1,000	1,000	-	

コア営業利益：IFRSの営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除した損益であり、経常的な収益力を表す損益概念。持分法投資利益を含む。
社内管理損益として使用し、セグメント損益として開示予定。

(参考資料)

セグメント別売上高（四半期推移）

16

単位:億円

	16年度				17年度	17年度予想	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	上期	下期
石油化学	1,370	1,287	1,484	1,580	1,565	3,000	3,400
エネルギー・機能材料	470	475	515	599	593	1,200	1,300
情報電子化学	860	887	951	886	908	1,900	1,950
健康・農業関連事業	640	618	661	1,274	652	1,500	2,300
医薬品	1,117	1,026	1,155	1,145	1,248	2,350	2,450
その他	109	147	127	161	120	250	300
合計	4,566	4,440	4,893	5,645	5,085	10,200	11,700

セグメント別営業利益（四半期推移）

単位:億円

	16年度				17年度	17年度予想	
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	上期	下期
石油化学	18	49	109	91	103	130	140
エネルギー・機能材料	7	15	30	21	46	50	70
情報電子化学	14	11	65	14	30	110	100
健康・農業関連事業	91	38	37	296	30	130	470
医薬品	153	126	182	90	203	280	290
その他 全社費用等	△30	△18	△32	△31	△37	△50	△70
合計	253	219	390	481	376	650	1,000

外貨ベース

会社名	売上高		利益動向
	16年度1Q	17年度1Q	
ザ・ポリオレフィン・カンパニー (シンガポール) (百万USD)	267	278	↗ (良好なマージンを維持)
ペトロケミカル・コーポレーション・ オブ・シンガポール (百万USD)	572	599	→ (良好なマージンを維持)
ラービグ・リファイニング・アンド・ ペトロケミカル・カンパニー (百万SAR)	4,947	6,702	↘ (石油精製マージンの低下等)
東友ファインケム (億KRW)	5,165	5,274	↘ (販売数量増加の一方、 売価下落等により減益)
ベラント U.S.A. (連結ベース) (百万USD)	191	166	↘ (出荷時期ずれ等)